

# わくわく・すくすく・みんなで子育て

## ～保護者による読み聞かせ活動の実践～

原町幼稚園 P T A

### はじめに

近年、少子化や核家族化、情報化や人間関係の希薄化などの社会的な影響で地域の教育力の低下に伴い、家庭の教育力も低下しがちです。

原町幼稚園は通称「トトロの幼稚園」と呼ばれ、町の中央部に位置しています。平成14年度から3年保育となり、今年度は3歳児20人・4歳児25人・5歳児32人・計77人の園児が在籍しています。

原町幼稚園に在籍している園児の家庭は殆どが核家族です。お母さん達も午前中だけパートに出ている人も数名いますが、フルタイムで働いている人は数える位しかいません。子どもの教育には大変関心が高く、園の行事への参加率は非常に高いです。しかし、本園の保護者にも「しつけ方がわからない」「いちいち怒ってしまう」「親から離れられない」「子どもに触れられたくない」「最近、反抗的になった」「なかなか食事をしてくれない」など様々な育児不安を抱えている人が大勢います。私自身、そんな保護者の一人です。そんなお母さん、お父さん達が一人で悩むことなく、安心して楽しく子育てに取り組むようにという願いから「わくわく・すくすく・みんなで子育て」を掲げて取り組んできました。その実践として保護者による「読み聞かせ活動」を通して園児達がすこやかに成長していけるように家庭、地域、幼稚園が連携しあって進めています。

### 2 P T Aの組織・運営

本園の P T A は、会長を中心に子育て委員会・ふれあい委員会・広報委員会の三つの専門委員会に分かれて主体的に活動しています。

子育て委員会は家庭教育学級を年に二回、井戸端会議を年に三回行っています。今年の9月に実施した4歳保護者の井戸端会議で父親を対象とした井戸端会議の要望が出ました。それを受けて現段階では「父親による井戸端会議」を検討中です。

ふれあい委員会は本園の一大イベントである「秋のお楽しみ会」と「餅つき会」を担当しています。大きなイベントのため、例年、ふれあい委員会に所属したい役員が多く、今年度は「絵本の世界へようこそ」をテーマにブレーメンの音楽隊コーナー、はらぺこあおむしコーナーなどで親子を楽しませてくれました。幼児達の喜びは勿論ですが、企画・運

営にあたる役員さんの自己実現にもつながっています。

広報委員会では広報発行と絵本の読み聞かせを行っています。トト口通信を年間3回発行しますが、第二号は読み聞かせ特集号となっています。

### 3 保護者による読み聞かせ活動

#### 読み聞かせに至った経緯

ある時、子育て委員会で、若いお母さんが「絵本を読んであげるようになってから、子どもといるのが一層楽しくなりました。」という発言がありました。また、月一回、地域の方（槻木）による「読み聞かせ」の様子を見てみると、園児達は身を乗り出して一生懸命聞き入っています。絵本の持っている小さな魅力、そんな魅力に日々触れさせたい、そんな先生方の思いをPTAの委員会で投げかけていただきました。役員もそのことに賛同し、平成17年度から、広報委員会による「保護者による読み聞かせ」がスタートしました。

#### 読み聞かせの方法

園と連携を図りながらPTAの広報委員会が主体となり、年間の行事予定やクラスの保育状況を勘案しながら始めました。

#### 読み聞かせについて

#### 読み聞かせのご案内

絵本読み聞かせについて

広報委員会

読み聞かせについて ご協力をお願い致します。

記

1. 絵本について ご自分ご用意して下さい。
2. 実施日について 毎月発行される「園だより」の行事予定を参考にし、園と相談して下さい。
3. 当日について 年長・年中担当者は1時頃、年少担当者は12時45分頃においで頂き、職員室をお待ち下さい。
4. その他 読み聞かせ後、簡単なアンケート(読んだ本、作者、感想等)に記入して頂きます。

読み聞かせは 月 組 をお願いします。

絵本を読んでもくれる方  
大募集

ちょっとは詳しいかと思っている人も是非よみ聞かせをしてみませんか?  
子どもたちの可愛い笑顔が待っています!!

ご希望の方は広報委員まで!

「読んで下さいます!」

年長さんは幼稚園生活最後の年!  
子どもたちの記念に、この機会に是非ご参加下さい。  
さよ、可愛い思い出になると思いますよ!

読み聞かせを行う保護者は、事前に園の先生と連絡をとりあい、日にちを決めたり、絵本を選んだりしておきます。当日は、降園時、少々早く迎えに来て、クラスの降園準備ができたところから始めます。

#### 読み聞かせの場面

「わーい、 ちゃんのおかあさんだ」と一斉に視線が向き、拍手、早速読み聞かせが始まります。絵本は毎回、読み手の保護者が自分で選んで読んでくださいます。本の魅力もさる事ながら、読み手の持ち味が生かされて、子どもたちは目を輝かせて聞き入っています。中には手遊び、ギター演奏、ピアノ、手品などで、読み聞かせに花を添えてくださる方もいます。現在、手作りの絵本を作成中の父母もいます。

読み聞かせを始めて4年目になりますが、お母さん、お父さん、おばあちゃん、おじいちゃん、ご夫婦などたくさんの方が読み聞かせをしてくださっています。

#### お母さんの読み聞かせの様子と感想



初めての読み聞かせでした。選んでいる間は何だかワクワク楽しい気分。さすがに32人を目の前にするとドキドキでしたが心地よい緊張感でした。きちんと座って聞き入る子ども達の集中力、そして「ありがとうございました」の揃ったご挨拶、とても立派にでき大きな成長に驚き、嬉しく思いました。良い経験ができとても素敵な時間でした。

#### お父さんの読み聞かせの様子と感想



3歳児クラスの時一度読み聞かせをさせてもらったのですが、その時に比べ反応が良く、面白い時に笑い、聞く時に聞く雰囲気ができあがっていて一年間の成長を感じることができました。楽しく読み聞かせをさせていただき嬉しく思います。

#### おばあちゃんの読み聞かせの姿と感想



発達の様子もよくわからないので、本をみつけるのに苦労しました。日頃、絵本に接する機会が少なくなっているので季節に合った絵本が見つけれらるとなお良かったと思いました。つたない読み聞かせにも良く反応してくれて有難かったです。

#### おじいちゃんの読み聞かせの姿と感想



真剣に聞き入ってくれてありがとう。久しぶりに充実した時がもてました。次回も楽しみにしています。

#### ご夫婦での読み聞かせの姿と感想（子どもの誕生日に合わせて来ていただきました）



二つ読んだので男の子用と女の子用を用意しました。いろいろな子どもの顔が見られて良かったです。昨年も読み聞かせに参加しましたが一年間の成長が見られました。

#### 読み聞かせに参加された人数

昨年度、この読み聞かせに加わった保護者の数は延べ95人になりました。

#### 読み聞かせを終えて成果と課題

##### **成果**

- ・ わーいお母さん、お父さんがきてくれる 「親子関係の構築」につながりました。

- ・ どの絵本にしようかな 「準備に費やす楽しい時間」をもつことができました。
- ・ ドキドキ・わくわく・充実感 「親子の想像力と自己実現」につながりました。
- ・ 読み聞かせごっこしようよ 「子ども同士の遊び」に発展することができました。
- ・ わくわく・すくすく・心豊かな子どもの育成 「教育目標」に近づく事ができました。

#### 課題

- ・ 参加できない人にどうやって参加してもらえるか 「家庭環境と親の気持ち」

## 4 おわりに

P T A 広報委員会を中心とした「読み聞かせ活動」も4年目を迎えました。各専門委員会の活動を通して、もたらされる豊かな時間は親子にとって宝物です。また、「読み聞かせ」で園に出向くことでクラス担任及び他の園児理解につながり、その結果、園、保護者、保護者同士の意思の疎通が図られ、共に子育てを進めているという安心感をもつことにも繋がっています。子育てで悩みのあるお母さんも、ちょっとした会話の中で自分の思いを話し、すっきりして帰る、そんなこともあるようです。

本園の専門委員会の活動は、P T A 本来の趣旨である主体的な活動が展開されています。私自身、P T A 役員をたまたま経験し、自分達で行事をつくりあげていく毎に親としての姿勢が変わってきました。特に「読み聞かせ」には歴代の男性役員は率先して参加している姿が見られます。年度を越えて協力し合い、原町幼稚園 P T A は保護者、先生方、そして地域と連携し、つながっていることを嬉しく感じます。「わくわく・すくすく・みんなで子育て」今後も P T A 一丸となって進めていきたいと思っています。